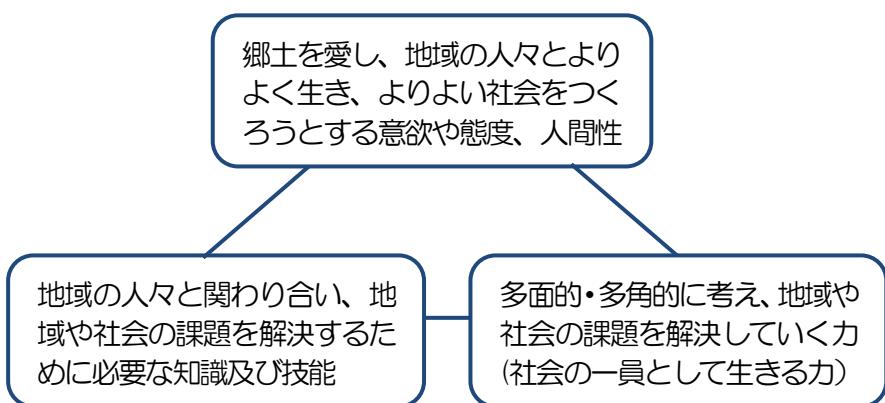


R6年度 八千浦学園グランドデザイン

学園目標 志高く 地域を愛し 自らの夢に向かって 主体的に学ぶ 心身ともにたくましい子ども の育成

【 学園として育成を目指す資質・能力 】



学園管理職の会 →→ 学園企画委員会

学校運営協議会正副会長・正副学園長・教頭・地域コーディネーター

◎ 学園会議 (全職員参加 年間4回 小中教頭担当)

◎ 担当者会 (随時開催)

教頭会、教務主任会、研究主任会、特別支援教育コーディネーター会、人権教育・同和教育担当者会、生徒指導・生活指導担当者会、生活・総合担当者会、児童会・生徒会担当者会、養護教諭会

教育期	前期 (第1学年～第4学年) 基 础 定 着 期	中期 (第5学年～第7学年) 基礎・基本の充実期	後期 (第8学年～第9学年) 発展と自己定期
	□学びの基礎指導の徹底 ○社会性の基礎の育成	□主体的・対話的な学びの確立 ○自己有用感及び他者を思いやる心の育成	□課題解決のための深い学びの確立 ○協力して課題に立ち向かう社会性の育成
何を学ぶのか	□反復練習や一斉授業でのルールの繰り返し指導をとおして、学びの基礎・基本が身に付くようにする。 ○体験や集団行動をとおして、集団社会における基本的なルールや役割を学ばせ、社会性の基礎を育む。	□習得・習熟形式の学習と問題解決学習を取り入れた授業実践を繰り返すことにより、探求心と表現力を育む。 ○地域行事や学校行事に主体的に参画されることをとおして、自己有用感と他者を思いやる心を育てる。	□地域とともに創る活動をとおして、キャリア発達を促しつつ、地域や社会の課題解決に必要な確かな学力を培う。 ○地域社会の一員として、自分のできることを考え、実践することをとおして、成就感を味わわせ、郷土愛、豊かな社会性を育む。
目標	【指導の概要】 ①基本的な学習ルールの徹底 ②反復練習による基礎の定着 ③学年×10分の家庭学習習慣の定着 ④生活科や総合学習における地域学習の実践 ⑤返事やあいさつ等の定着	【指導の概要】 ①習得・習熟形式の学習と問題解決学習の効果的運用 ②キャリア教育と関連させた総合学習の実践 ③グループ学習などの学習形態の工夫 ④主体的に地域に出かけて学ぶ地域学習の実践 ⑤ユニバーサルデザインを意識した授業の実践	【指導の概要】 ①「学び合い、深め合う」授業の実践 ②地域との出会いを大切にした総合的な学習の時間及びキャリア教育の推進 ③地域活動への積極的な参画を促す生徒主体の全校活動の推進 ④自ら生活習慣を改善する活動の推進
どのように学ぶのか	■教頭会 [小:鹿島 中:平野] ○はまぐみ市・八千浦文化展(11/2, 3)への参加 … 児童生徒の作品展示(小・中)、収穫物の販売活動(小) ■教務主任会 [小:本田 中:石川] ○(小)150周年記念発表会 (中)合唱祭の計画立案 ○小学校6年生の中学校授業体験・部活動体験の日程調整(11/7) ○保護者対象中学校入学説明会の説明資料作成(中) ■研究主任会 [小:宮崎 中:上野] ○「継続性のある学習ルール」の構築と徹底(「八千浦学園話合い5か条」の見直し) ○家庭学習強調旬間 ○日々の授業改善・授業交流及び乗り入れ授業の計画、実施 ○学園研修会 … 夏季休業中に半日日程で実施(8/○) ■特別支援教育コーディネーター会 [小:天金・佐藤 中:小林] ○教育的ニーズに基づいた児童生徒に対する小・中切れ目がない支援のための情報交換会の実施 ■人権教育・同和教育担当者会 [小:植田 中:春日] ○夏季休業中の現地学習の実施(8/2) ○同和教育の授業交流の計画・実施 ○人権講話の実施 ■生徒指導・生活指導担当者会 [小:渡邊 中:田中] ○いじめ見逃しゼロ月間 … 6月:「学園いじめ見逃しゼロ3カ条」の見直し 10・11月:3カ条に基づく道徳等での授業の実施 ○絆遠足 … 5～9年生の縦割り班による遠足の実施(10/10) ■生活・総合担当者会 [小:福崎 中:中尾・保坂] ○継続したキャリア教育の推進 ・「キャリア教育取組プラン」(R2作成)の実施、改善 ・キャリアパスポートの作成と活用 ○【小学校】・栽培活動ー収穫体験ー販売活動 ・レインボーハイキング 等 ○【中学校】・地域のもの、自然、人、交流の学習 ・職場体験学習 ・修学旅行と関連した調べ学習 ・進路学習、卒業論文 ■児童会・生徒会担当者会 [小:金子・麻績 中:高橋] ○あいさつ運動 … 年2回 児童会・生徒会によるあいさつ運動の実施 ○海まつりへの参加・協力 ○クリーン作戦 … 年1回(時期と内容については今後検討) ■養護教諭会 [小:野澤 中:丸田] ○学校保健委員会… 児童会・生徒会の保健委員会が中心となる健康課題解決の取組(「八千浦学園ライフスタイル」の見直し) ○「元気アップウィーク」の実施(毎月1回)		
主な方策・ツール			

評価

1 学校運営協議会での評価

- 第1回学校運営協議会でグランドデザインと経営方針を示し、承認を得る。
- 第3回学校運営協議会で学校評価に基づいた評価を行い、次年度の学園運営方針、学校運営方針の概要を説明する。
- 学校運営協議会委員の学園評価(5項目程度)を行い、学園運営の指針とする。

2 学校評価に位置付けた評価

- 学校評価に小中一貫教育で推進している内容を具体的に示し、児童生徒の保護者・教職員のアンケートによる評価を行う。